

西洋事情

制度局

			九二六六	和書門
一〇	八	九	六	類
冊	架	函	號	

一八五	九二六六	和
函	一〇	冊
一五架	號	類

內閣文庫	
番號	和 9266
冊數	10 ( 2 )
函號	185 348





元書院  
圖書記

# 左藏

制度局

西洋事情卷之二

亞米利加合衆國

史記

千四百九十二年西班牙ノ松將濶羅亞米利加國ヲ

發見セシヨリ爾後歐羅巴各國ノ政府並ニ商社其

地ヲ發見スレハ隨テ人民ヲ移シ其地ヲ本國

ノ所領トナセリ千七百六十年ノ頃今ノ合衆國ノ

地英國ノ所轄ニ屬スルモノ十三州アリ千七百六

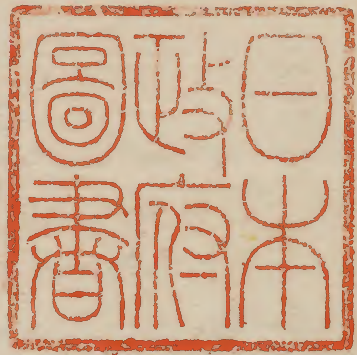
左院書  
籍取締

福澤諭吉

取纂調  
制度



十五年英國議事院ノ定議ニテ九十三州ノ内ニ用  
ユル物品ハ盡ク其證印稅ヲ取ルヘシト法令ヲ下  
シタリ此法令ハ各州ノ服セサル所ニテ速ニ廢シ  
タレ氏其後又種々苛刻ノ法ヲ立テ、収斂シ州民  
之ニ堪ヘスシテ屢愁訴スレ氏用ヒラレス失望ノ  
餘リ、州内一般ノ利益ヲ謀ルトテ各州ヨリ人物ヲ  
推舉シテ七百七十四年第九月四日フレデル石  
ヤニ會同シ種々商議ヲ盡シテ英國政府ノ公平ナ  
ル處置ヲ得ント願訴シタレ氏更ニ之ヲ聽カス却  
テ益暴威ヲ張り且政府ノ法令ヲ拒ムセノハ威力



ヲ以テ之ヲ壓伏スヘシトテ本國ヨリ兵ヲ送リタ  
リ此勢ニテ州民政府ノ命ニ背ケハ戰ハサルヲ得  
ス命ニ後ハ苛刻ノ法ニ束縛サレテ終身奴隸ト  
為ラサルヲ得ス戰和ノ兩議且夕ニ迫リタレ氏人  
心ノ向フ所遂ニ戰議ニ決シテ竊ニコンコルドニ  
武器ヲ集メリ于時七百七十五年第四月ナリ英  
國ノ將軍ゲージ之ヲ聞キ同月十九日指揮官ピト  
ケールンヲシテ一隊ノ兵ヲ卒ヒテコンコルドニ  
向ハシメシニ途中レキシントンニ於テ武器ヲ携  
ヘタル者ヲ見タリ依テ命ヲ下シ其武器ヲ置カシ



ノントシタレヒ聽カス乃チ之ニ放發シテ數人ヲ  
 殺シ又コソコルドニテモ戰鬪シテ双方死傷多シ  
 之ヲ血戰ノ初トシ遂ニ數年ノ騷乱ニ及ヘリ○コ  
 ノ片日未タ暮レス近傍ノ寺院ニテ一時ニ鐘ヲ鳴  
 ラシ此合圖ニ從テ衆民皆武器ヲ携ヘボーストン  
 ニ集ヤルモノ百ヲ以テ計フ第六月十七日ブンケ  
 ル山ノ戰ハ亞米利加人千五百人英ノ兵三千人ト  
 接戰シ三度ヒ敵ヲ退ケタレヒ遂ニ我兵利ナクシ  
 テチャルストンニ引キタリ此時ニ我勇將ワルレン  
 戰死セリ總計亞人ノ戰死四百五十人英人ヲ殺ス

千餘ナリブンケル山ノ戰爭後華盛頓ヲ推シ  
 テ總督將軍ト為シボーストンニ會同セル議事官  
 並ニ兵卒ヲ名ケテ大州ノ軍勢ト稱セリ第七月一  
 日ヨリ華盛頓總軍ノ指揮ヲ司リ先ツボーストン  
 ニ赴キ翌年第三月英國ノ將軍ボートツガボースト  
 ンヲ去テヨリ其近傍ニ敵國ノ兵ナシ○レキシ  
 トン及ヒブンケル山ノ合戰ニテ人心益意ヲ決シ  
 テ防戰ヒントシ遇千七百七十六年ノ春英國王ヨ  
 リ命ヲ下シ亞米利加人ヲ征スルニ付テハ劇烈ノ  
 カヲ盡シテ之ヲ制壓スヘシトノ報告アリシヨリ



諸州一般之ニ奮激シテ合衆獨立ノ意ヲ生シ第六  
 月九日會同協議シテ合衆諸州ハ周ヨリ獨立スル  
 ノ理ヲ以テ獨立シ、英國ト交ヲ絶チ、英國ノ支配ヲ  
 受ケス、固ヨリ之ト離別スルノ理ヲ以テ之ト離別  
 スルトノ大論ヲ發シ次テ獨立ノ檄文ヲ作ルタメ  
 ゼツェルソン、アダムス、フランキン、シエルマン、ライ  
 井ントンノ五人ヲ推テ作文ノ職ニ任シ第六月二  
 十八日ゼツェルソン草稿ヲ起シテ之ヲ評議所ニ出  
 シ第七月一日マテ机上ニ置キ五名ノ人ニテ増補  
 刪正シテ其文ヲ定メ各州ノ名代人ニ示セシニ之

ニ同意スルモノ九州之ヲ拒ムモノ二州アリ依テ  
 又衆人一般ニ商議シタレバ獨立ノ議ニ左祖スル  
 モノ多ク加之第七月四日ニ至テ諸方ヨリ獨立ノ  
 論ヲ唱フルモノ蜂起雲集シ遂ニ十三州同意一定  
 シテ獨立不羈ノ國ト稱シ滿後益兵ヲ募リ英ノ兵  
 ト戰テ互ニ勝敗アリ又千七百七十八年第二月佛  
 蘭西ト條約ヲ結テヨリ防戰ノ助力ヲ得タリ○騷  
 乱ノ初ヨリ七年ノ間二十九戰ニ或ハ勝チ或ハ敗  
 シ千七百八十一年ヨリクタクランノ一戰ヲ以テ事  
 ヲ終レリ此戰ハ第十月十九日華盛頓一萬六十ノ

西洋事情



兵ヲ指揮シ英國ノ將軍コルンソリスト接戦ンテ  
 大ニ勝テ敵兵五百五十人ヲ殺傷シ七千二百四十  
 七人ヲ生捕リコルンソリスモ降参シタリ此ヨリ  
 英軍カヲ失テ遂ニ和睦ヲ議シ千七百八十三年第  
 一月二十日仮條約ヲ結ヒ翌年第九月三日本條約  
 ヲ取り替シ合衆國ノ不羈獨立ヲ周ク布告シタリ

千七百七十六年第七月四日亞米利加

十三州獨立ノ檄文

人生已ムヲ得サルノ時運ニテ一族ノ人民他國  
 ノ政治ヲ離レ物理天道ノ自然ニ從テ世界中ノ

萬國ト同列シ別ニ一國ヲ建ルノ時ニ至テハ其  
 建國スル所以ノ原因ヲ述ヘ人心ヲ察シテ之ニ  
 布告セサルヲ得ス

天ノ人ヲ生スルハ億兆皆同一轍ニテ之ニ附與  
 スルニ動カス可カラサルノ通義ヲ以テス即其  
 通義トハ人ノ自カラ生命ヲ保シ自由ヲ求メ幸  
 福ヲ祈ルノ類ニテ他ヨリ之ヲ如何トモス可ラ  
 サルモノナリ人間ニ政府ヲ立ル所以ハ此通義  
 ヲ固クスルタメノ趣旨ニテ政府ヲランモノハ  
 其臣民ニ満足ヲ得セシメ初テ眞ニ權威アルト



云フヘシ政府ノ處置此趣旨ニ戾ルキハ則之ヲ  
 變革シ或ハ之ヲ倒シテ更ニ此大趣旨ニ基キ人  
 ノ安全幸福ヲ保ツヘキ新政府ヲ立ルモ亦人民  
 ノ通義ナリ是余輩ノ辯論ヲ俟タスシテ明了ナ  
 ルヘシ○因循姑息ノ意ヲ以テ考フレハ舊來ノ  
 政府ハ一旦輕卒ノ舉動ニテ變シ難シト思フヘ  
 シ然レモ同一ノ人民ヲ目的ト爲シテ強奪ヲ恣  
 ニシ惡俗ヲ改メシメスハ遂ニハ自主自裁ノ  
 特權ヲ以テ國內ヲ惱マヌニ至ルヘシ故ニ斯ノ  
 如キ政府ヲ廢却シテ後來ノ安全ヲ固クスルハ

人ノ通義ナリ亦人ノ職掌ナリ○方今我諸州正  
 シク此ノ難ニ羅レルカ故ニ政府舊來ノ法ヲ變  
 革スルハ諸州一般止ムヲ得サルノ急務ナリ英  
 國王ノ行ヒテ論スレハ不仁慘酷ノ他ニ記スヘ  
 キモノナク專ラ暴政ヲ以テ我諸州ヲ抑壓セリ  
 今其事實ヲ救擧シ之ヲ世界ニ布告シテ其明論  
 ヲ待ツヘシ  
 英國王世上一般ノ利益ノ夕ノ欠ク可ラサルノ  
 良法ヲ採用セス○急要ノ事件指起ルバ其土地  
 ノ奉行ニテ法ヲ立ントスルモ英國王之ヲ禁シ



テ王ノ免許ヲ得ルニ非サレハ之ヲ施行セシメ  
 ス加之斯ク其施行ヲ禁シ王ハ自カラ之ヲ忘却  
 シテ意ヲ用ユルコトナシ○英國王州内一般  
 當セル法令ヲ施スコトヲ拒ミ其人民ヲシテ國法  
 ヲ會議セシムルノ通義ヲ破レリ此通義ハ人民  
 ニ於テハ甚ク貴重ニシテ暴政ヲ行ハントスル  
 者ノ恐ル、所ナリ○英國王其國法ヲ會議スル  
 場所ヲ不都合ナル遠地ニ設ケテ人民ノ議論ヲ  
 避ルハ人ヲシテ奔走ニ疲レ余議ナク其法ニ從  
 ハシメント欲スルナリ○英國王果斷ヲ以テ人

民ノ通義ヲ破ラント欲シ屢國民ノ會議局ヲ廢  
 シタリ○英國王此會議局ヲ廢シテ更ニ再建ヲ  
 拒ミ之ニ由テ國政ヲ議スルノ權ハ自カラ國民  
 ニ歸シ其本國ハ内外ノ危害ヲ蒙ルニ至レリ○  
 英國王我諸州ニ人口ノ繁殖スルヲ妨グント欲  
 シ外人歸化ノ法ヲ廢シテ其移住ヲ禁シ土地分  
 配ノ新法ヲ立タリ○英國王此國ニ裁判ノ權ヲ  
 附與スルヲ拒テ裁判局ヲ廢シタリ○英國王特  
 權ヲ恣ニシテ官將ヲ與奪シ俸祿ヲ増減セリ○  
 英國王新ニ官吏ヲ命シテ此國ニ送り國內ニ群



集シテ我州民ヲ煩ハシメ我州民ノ膏血ヲ竭カ  
 シノタリ○英國王我輩ノ衆議ニ戻テ無事ノ時  
 州内ニ常備兵ヲ設ケタリ○英國王文武兩局  
 ヲ別テ武局ヲ以テ文局ノ右ニ置タリ○英國王  
 我法律ニ戻リ我政治ニ異ナル一殊ノ政ヲ以テ  
 我人民ヲ制伏セント欲シ徒黨ヲ結テ其黨ヲ議  
 定シタル偽法ヲ許シタリ○蓋シ其趣旨ヲ察ス  
 ルニ斯ノ如クシテ我國內ニ大兵ヲ送ラントス  
 ル為ナリ大兵ヲ送テ我州民ヲ殺害マルトモ空  
 論ヲ述テ其罪ヲ遁レントマル為ナリ我國ト世

界中トノ貿易ヲ絶ントスル為ナリ我州民ノ承  
 服セザル賦稅ヲ収歛セントスル為ナリ我輩ヲ  
 海外ニ送テ安ニ害ヲ加ヘントスル為ナリ我近  
 傍ニ一州ノ地ヲ占其州内ニ元來英國寬裕ノ法  
 律ヲ廢シテ自主自裁ノ政ヲ施シ漸ク其境域ヲ  
 廣メテ遂ニ其例ヲ以テ我諸州ヲヒ獨裁ノ政治  
 ニ屬セントスル為ナリ我州民ノ自カラ法令ヲ  
 議定スヘキ權ヲ棄却シテ國王ノ徒黨ヨリ我輩  
 ヲ制スルノ權柄ヲ執ルトテ之ヲ一般ニ布告セ  
 ントスル為ナリ○英國王ハ我州民ノ保護ヲ廢



シ我諸州ニ向テ師ヲ遣リタルニ由テ自カラ此  
 諸州ヲ支配スルノ權ヲ棄タルナリ○英國王我  
 近海ヲ掠ノ我海岸ニ祇シ我都府ヲ燒キ我人民  
 ノ命ヲ害セリ○英國王殺人滅國ノ暴政ヲ遂ケ  
 ント欲シ方今ハ外國ノ大兵ヲ雇テ我國ニ送リ  
 タリ其不義慘酷往古ノ夷狄ト雖モ為テル所  
 テ豈文明ノ世ニ出テ人ノ上ニ立ツ者ノ舉動ナ  
 ラニヤ○英國王洋中ニ於テ我國人ヲ捕ハ強テ  
 之ニ武器ヲ與ヘ其本國ニ向テ其親戚朋友ヲ伐  
 タシメントセリ○英國王我諸州ニ内亂ヲ起サ

シノテ我州内ノ人民ヲ印度ノ野人ト同様ニ御  
 セント欲スレバ印度人殺伐不仁ノ戦ト之ヲ同  
 日ニ論ス可ケンヤ○英國王我諸州ニ於テ  
 苛刻ノ法令ヲ出ヌ毎ニ余輩言ヲ身ノシ謹テ願  
 訴シタレバ嘗テ之ヲ聽カス隨テ願訴スレハ隨  
 テ之ニ報ユルニ慘毒ヲ以テシ一令出ル毎ニ其  
 暴政タルヲ證スルニ足レリ斯ジ如キ暴君ハ自  
 由寛裕ナル人民ノ上一置ク可ラズ○英國王  
 又我輩我本國タル英國ノ人民ニモ注意セサズ  
 ニ非ラス英國ノ人民カ法ヲ議シテ非道ノ政治



我諸州ニ加フルコト付テハ我輩屢之ニ忠告  
 シ昔我輩ノ英國ヲ去テ此國ニ移住セシハノ景  
 況ヲモ述ヘ英國人一般ノ正論ヲ請ヒ或ハ骨肉  
 ノ縁ヲ以テ懇談シ斯ク暴政ヲ行ヒテハ遂ニ  
 双方ノ交際ヲ絶ニシカ故ニ之ヲ辯論周旋  
 ヘシト反覆請求シタリ且英國人民ト共ニ是レ  
 輩育ニシテ嘗テ之カ為正論ヲ唱ヘヌ又骨肉ノ  
 縁ヲモ顧ミス故ニ我輩止ムヲ得スシテ交ヲ絶  
 テ英人ヲ見レリ猶他國人ヲ待遇スルノ如クシ  
 テ戰ニハ之ヲ敵トシ太平ニハ之ヲ友トスヘシ

ト決意シタリ  
 故ニ亞米利加合衆國ノ名代人ナル我輩其論說  
 ノ正否ヲ世界中ノ公評ニ質サンカ為コトニ會  
 同シテ州内良民ノ名ニ代リ州内良民ノ權ヲ藉  
 リ謹テ次件ヲ布告ス合衆諸州ノ固ヨリ獨  
 ルノ理ヲ以テ獨立シ英國ト交ヲ絶テ英國ノ支  
 配ヲ受ケヌ固ヨリ之ト離別スルノ理ヲ以テ之  
 ト離別シ且既ニ不羈獨立ノ國ト為リタルカ故  
 ニ或ハ師ヲ出シ或ハ和睦ヲ議シ或ハ條約ヲ結  
 ン或ハ貿易ヲ為ス等都テ獨立國ニテ行フヘシ



事件ハ我國ニ於テモ之ヲ施行スルノ全權アリ  
 ○右布告ノ趣旨ハ余輩天道ニ扶助ヲ固ク信シ  
 テ幸福ト榮名ヲ此一舉ニ期シ死ヲ以テ之ヲ守  
 ルモクナリ  
 十三州ノ名代人四十八名調印  
 合衆國獨立ヲ布告シテヨリ以來專ラ國內一般ノ  
 利益ヲ謀リ同盟ノ定議ヲ以テ國法トナシタリ  
 多年ノ干戈初テ止テ全國太平ニ歸シ後ヲ貿易商  
 賣諸術ニ業ヲ舊ニ復スルニ付ラハ其法律不便ノ  
 一テルヲ以テ千七百八十七年第五月諸州名代

人フレブルズヤ一會シテ國政ヲ定メリ即今ノ合  
 衆政治ノリ又華盛頓ハ騷乱ノ初期ヨリ亞米利加  
 ノ兵ヲ指揮シタル人物ナルヲ以テ之ヲ推テ大統  
 領トナシ千七百八十九年第四月三十日ニエリヨル  
 之ニ於テ統領ノ職ニ任シタリ○華盛頓職ニ任シ  
 テヨリ國用ヲ節シ賦稅ヲ平ニシ國內ノ經濟ヲ脩  
 メテ富國ノ基ヲ立テ外國ノ交際ヲ厚クシテ信義  
 ヲ失ハス此時ニ當テ歐羅巴ノ諸國ニ爭戰アリシ  
 カレ合衆國ハ固ク中立ヲ守リ嘗テ之ニ關係セシ  
 一ニ在職八年ノ間内外無事ニシテエルセント



クニナツキアソクニトノ三州合衆國ノ版圖ニ歸  
 シタリ( )千七百九十七年華盛頓職ヲ辞シジョニ  
 タハス代テ大統領ニ任シタリ是ヨリ先キ我政府  
 外國トノ交際ニ中立ヲ守テ他國ヲ助ケサルヲ以  
 テ佛蘭西人ノ憤リ合衆國ノ貿易ヲ妨ケ或ハ兵  
 ヲ舉テ来リ攻ントスルノ勢アリ是ニ於テ大統領  
 アダハス陸軍ヲ備ヘ海軍ヲ増シ華盛頓ヲ以テ陸  
 軍ノ總督ニ命シタレト其後華盛頓ハ病死シ且  
 幸ニシテ佛蘭西ノ事モ平キヤリ千八百一年アダ  
 ハス職ヲ去リビッシュルソニ代テ大統領ト為リ其後

佛蘭西ト約束ヲ定メ千五百萬ドルヲ以テ佛ニ與  
 ヘテ其領地ロイシヤナ州ヲ合衆國ニ并セタリ○  
 マッスルソニ在職ノ間盛大ノ政ヲ施シ貿易ヲ勉  
 外交ヲ脩メ合衆國ノ威名歐羅巴諸國ニ轟クニ至  
 レリ然ル所先キニ亞米利加騷亂ノハ英人屢大敗  
 ヲ取テ既ニ其勇氣ヲ失ヒ加之建國ノ後ハ亞米利  
 加ノ貿易次第ニ盛ナルヲ見テ嫉妬ノ意ヲ生シ力  
 ヲ以テ敵對スルヲ能ハサレ氏竊ニ之ヲ忿怒シテ  
 屢亞米利加人ヲ凌辱セムヲアリ亞人之ニ堪ヘ  
 遂ニ千八百十二年大統領ワシントンニ在職ノ代ニ至

西洋事情



テ兵ヲ擧テ英國ト戦ヒ千八百十五年再ヒ和睦  
 テ條約ヲ結ビタリ此戦争ニテ合衆國ノ軍費九  
 億ルフル兵士ヲ失フ一三萬人許ナリ英國ト  
 戦争終ラントスル時ニ當テアルベリ一國  
 州岸ニテ北州州ノ海賊亞米利加ノ  
 ニリ後佛蘭西ノ所領トシテリノ海賊亞米利加ノ  
 貿易ヲ妨ハ向船ヲ掠奪シタルニ付千八百十五  
 年第五月水師提督デカチュール軍艦ヲ率ヒテ地中  
 海ニ入りアルベリ一國ノ罪ヲ討シタリシニ不日  
 シテ罪ニ伏シ償金ヲ出シテ和睦ヲ為シタリ  
 テダナン在職ノ間ニ「ラハヨ」及ヒ「インヂヤナ」ニ

州版圖ニ入ル○千八百十七年ビーラム、モニル  
 アチソンニ代テ大統領トナリモニル一在職ノ間  
 ハ無事ニシテ外國ノ戦争ナシ唯ヒミノールノ  
 土人ト一小戦シタルニ千八百十九年西班牙人  
 東西フロリダノ地及ヒ近傍ノ屬島ヲ盡ク合衆國  
 一附與セリ○モニル一在職ノ間ニミンシッビー  
 リノイスマアラバインミンソウリノ五州版圖  
 入ル千八百二十年ミスソウリ州ヲ并スルニ初  
 テ奴隸論ヲ發シ州内ノ南北部ニテ其說齟齬ヒリ  
 依テ千八百二十二年議定シテ南方ノ獨立ヲ許シ







府、不和ヲ生シテ殆ント戦争ニ及ントセリ千八百四十一年ブーレン職ヲ去リハリソン之ニ代リ  
 シレ氏大統領ノ職ニ在ルヲ一月ニシテ死シ副統  
 領カイレル次ヲ大統領トナレリタイレル在職ノ  
 間ニ税法ヲ改革シ又チキサス及ヒフロリダノ二  
 州ヲ合衆國ニ并ヒタリ千八百四十五年タイレル  
 職ニ去リビームス、ホルク代テ職ニ任シメキシコ  
 合衆國ノ南境ノル國ノト戦争ニ及ヒリ此戦争  
 名此國ニ合衆政治ナリト戦争ニ及ヒリ此戦争  
 州ヲイリス州ヲ合衆國ニ并ヒタル事件ヨリ起リ  
 タル一陸軍總督テロール小勢ヲ卒ヒテキ

サス州ニ赴キメキシコノ國境ニ臨テ不意ノ備ヲ  
 為シ千八百四十六年第五月メキシコノ兵ト二戰  
 シテ互ニ勝敗アリ其後數度接戦シ終ニブーレン  
 スト云ヘル所ニテ大利ヲ得タリ此時敵兵ノ數  
 我兵ヨリ多キヲ四陪ナリ此勢ニ乘シテメキシコ  
 ト條約ヲ結ヒカリホルニヤ及新メキシコノ地ヲ  
 合衆國ニ并セリ又此時ヨロー井スコンシンノ  
 州モ版圖ニ入リタリ○千八百四十八年ホルク  
 職ヲ去リ將軍テロール後職ニ任ステロール在職  
 ノ間ニカリホルニヤノ地方ニ金礦ヲ發見シ太平



政治

千七百八十七年議定シタル合衆國ノ政治ハ國民集會シテ國政ヲ議スルノ趣意ニテ國法ヲ議定ス

ルノ權ハ議事院ニアリ議事院ヲ上下二區ニ分チ上院ノ議事官ハ各州ノ評議官ニテ撰擧シテ一州ヨリ二人死ヲ出シ其人數六十二名在職六年ヲ限トス此人數ノ内三分一ヲ二年毎ニ交代セシメ六年ニシテ惣人數一新スルノ割合ナリ之ヲ撰擧スルニ定律アリ年三十歳ニ滿タサル者及ヒ合衆國ノ戶籍ニ入テ九年ヲ經レル者ハ此撰擧ニ當タル可ラス上院ノ議事官ハ人物ヲ撰擧シテ官ニ命シ外國ト條約ヲ結フキ其事ヲ議論シ諸有司ノ過失ヲ論シテ之ヲ廢黜スルノ權アリ○下院ノ議事官



ハ各州一般ニ人民ノ撰舉スルモノニテ其人數二百三十三名在職二年ヲ限トス之ヲ舉ルノ法十年毎ニ合衆國內ノ人口ヲ計ヘ其惣數ヲ二百三十三ニ分テ之ヨリ一人死ヲ出ス十八百五十年ノ人口ハ二千一百七十一萬人アリ之ヲ二百三十三ニ分テ九萬三千百七十トナル故ニ國內ノ人民九萬三千百七十人ノ内ヨリ一人ヲ出スノ割合ナレハ各州人口ノ多寡ニ由テ撰舉ノ數一様ナラス撰舉ノ定律八年二十五歳ニ滿クサル者及ヒ合衆國ノ戶籍ニ入テ七年ヲ經サル者ヲ禁ス下院ノ議事官ハ

諸有司ノ過失ヲ論シテ之ヲ廢黜スルノ權アルハ上院ト同様ニシテ特ニ錢穀ノ權柄ヲ執ル○議事院ノ會同ハ毎年第十二月初旬月曜日ヲ以テ例日トス上下院各其議事官ノ内ヨリ一名ヲ推テ上席トナス上院ノ上席ハ即副統領ナリ又國政ノ事柄各異ナルニ從テ兩院共ニ其主役ヲ命ス此主役モ入札ヲ以テ議事官ノ内ヨリ撰舉スルナリ○議事官ノ給料ハ兩院共一人ニ付キ一日ハ「ドル」ラルト別ニ旅行ノ雜費トシテ二十人毎ニ八「ドル」ラルト與ヘ兩院ノ上席ハ一日ニ十六「ドル」ラルト與フ○



每事其可否ヲ論シテ既ニ一定スレハ之ヲ一國ノ法律トナシテ國中ニ施行スルノ權ハ大統領ノ手ニ在リ大統領ノ在職ハ四年ヲ限トス其給料一年ニ萬五千ドルナル此撰舉ニ當ル者ハ合衆國ノ産ニシテ年三十五歳ニ滿テ生來本國ニ住居スル十四年ヨリ少ナカル可ラス大統領ノ職掌ハ合衆國海陸軍ノ總都督ニシテ上院ノ議事官ト同議シ外國ト條約ヲ結ヒ文武士官ヲ命スルノ全權アリ又上下院ニテ既ニ議定セル事ニテモ大統領ニ於テ異存アレハ一人ノ特權ヲ以テ之ヲ拒ミ兩院ニ

下シテ再議セシムベシ但シ之ヲ再議シ兩院ノ議事官惣人數ノ内、三分ノ二ニテ同意一定スルキハ仮令モ大統領ノ免許ナクモ定テ法ト為スヘシ○大統領附屬ノ國老六名アリ第一大閣老、第二國用ノ出納ヲ司ル執政、第三軍務ヲ司ル執政、第四海軍ヲ司ル執政、第五飛脚場ノ事務ヲ司ル執政、第六刑罰ノ事ヲ司ル執政是ナリ其給料一年六千ドルナル在職ノ年限ナシ○右ハ合衆國ノ中心タル華盛頓府ノ政治ナレモ國內一州毎ニ各議事局ヲ設ケ人物ヲ撰舉シテ評議官ヲ命シ一州内ノ政ヲ施ス



ニ於テハ自カラ獨立ノ體裁ヲナセリ但シ外國ト  
 條約ヲ結ヒ強償ノ令ヲ出シ非常ノ一國ノ主長  
ヲ渡シ海上ニ於テ敵國ノ船ヲ取押ヘ強ヒテ味方  
ノ損失ヲ償ハシムルアリ之ヲ強償ノ令ト云フ  
 以下貨幣ヲ造リ銀券ヲ出シ縉紳ノ爵位ヲ許ス等  
 權ハ各州ニ禁スル所ナリ  
 千七百八十七年議定セル合衆國ノ律例  
 合衆國ノ人民タル余輩我合衆ヲ益固クシ正道ヲ  
 行テ國ノ靜穩ヲ謀リ災害ヲ防キ平安ヲ求メ人民  
 ノ寬裕ヲナサンタメコトニ亞米利加合衆國ノ律  
 例ヲ定ルト左ノ如シ

第一條

第一類 國政ノ議定スルノ權ハ合衆國ノ議事院ニ在  
 リ議事院ハ上下二區ニ分ツ  
 第二類 下院ノ議事官ハ國民一般ヨリ撰舉シ國民ノ  
 名代人トシテ職ニ在ル一二年ヲ限ル  
 ○年二十五歳ニ滿テ合衆國ノ戶籍ニ入ラセ  
 テ經ル者ニ非サレハ此撰舉ニ當カラズ  
 ○諸州ヨリ下院ノ議事官ヲ出サスノ員數ハ分  
 頭稅ト同様ノ割合ニテ州民ノ衆寡ニ由テ異  
 トルヘシ諸州人口ノ數ハ此度定議ノ後三年



ノ内會計ニ爾後ハ十年毎ニ一度改計スヘシ  
 議事官ノ數ハ州民三萬ニ付キ一人ノ割合ニ  
 リ多クスベカラヌ但シ一州ヨリ少クトスル  
 ス一人ハ撰舉スベシ  
 ○各州ヨリ撰舉シタル議事官ノ内、缺員スル  
 アレハ其州ヨリ令ヲ出シ不時一人ヲ撰舉シ  
 テ其缺位ヲ滿ツヘシ  
 ○下院ノ議事官ハ其官員ノ内ヨリ上席ノ者一  
 人及ニ他ノモ役ヲ推舉シ又諸有司ノ過失ヲ  
 論シテ之ヲ廢黜スルノ權アル可シ

類第

ニ上院ノ議事官ハ各州ノ評議官ニテ撰舉シテ  
 一州ヨリ二人宛ヲ出シ在職六年ヲ限ルヘシ  
 ○此度初テ諸州ヨリ上院ノ議事官ヲ會スル所  
 ハ惣人數ヲ三部ニ分テ第一部ハ二年ノ後ニ  
 新員ト交代シ第二部ハ四年ノ後ニ交代シ第  
 三部ハ六年ノ後ニ交代シ爾後此順序ニ從テ  
 二年毎ニ新員三合一ヲ撰舉シテ舊員ト交代  
 シシムヘシ若シ各州ノ議事局休會ノ間ニ  
 院ノ議事官缺員スルアレハ其州ヨリ不時  
 一人ヲ撰舉シテ其缺位ヲ滿ラシテ之ノ發會ヲ



待ツヘシ

○年三十歳ニ滿テ合衆國ノ戶籍ニ入ラ九五ノ經ラル者ハ上院ノ議事官トナラシメ許カス合衆國ノ副統領ハ上院ノ上席ナレバ別ニ特權アルナシ

○上院ノ議事官ハ副統領及ヒ他ノ主役ヲ推擧シ又副統領ニテ大統領ノ代任ヲ司スルハ別ニ臨時ノ副統領ヲ推擧スヘシ

○上院ノ議事官ハ諸有司ノ失過ヲ吟味シ之ヲ廢黜スルノ權アリ大統領ノ失過ヲ吟味ス

ハハ裁判役ノ總督之ニ列坐スヘシ都テ吟味ノハハ其席ニ列坐セル人數三合ノ二ノ裁斷ニ從フヘシ

○諸有司ノ過失ヲ吟味シテ之ヲ廢黜スト雖モ唯其官爵ヲ褫キ給料ヲ奪フノミニテ在職中ニ刑ヲ加フルナシ但シ爵祿ヲ奪フノ後ハ尚又裁判局ニ於テ之ヲ糾問シテ罪ナケレハ之ヲ免シ罪アレハ法律ニ從テ罰スヘシ

第 四 兩院ノ議事官ヲ撰擧スル日限場所等ハ預メ各州ノ評議局ニテ定メ置クト雖モ時宜ニ由

西洋事情 卷之二



リ華盛頓府ノ議事院ニテ之ヲ變スルヲアル  
ヘシ  
○議事院ノ集會ハ毎年第十二月初旬月曜日ヲ  
以テ例日トス但シ時宜ニ由テ他日ニ催ス  
テアルヘシ

第五類

兩院ノ議事官ハ其同僚ノ人ヲ撰擧シ或ハ之  
ヲ撰擧スルヲ拒ミ或ハ其人物ヲ議論スルニ  
付テ同説ノ多キニ從テ事ヲ審斷スヘシト雖  
モ異説ノ者ハ直ニ之ト雷同スルヲ要セス法  
ヲ犯スニ至ラサレハ其持論ヲ主張シテ可ナ

リ

○上下兩院各其局内ノ規則ヲ設ケ此規則ニ背  
ク者ハ之ヲ罪ス可シ但シ之ヲ議論スルハ議  
事官惣人數ノ内同説ナルモノ三合ノ二ニ至  
レハ其同説ニ從テ一員ヲ放逐スヘシ

○兩院各日記ヲ作テ院ノ議事ヲ記シ秘密ノ事  
件ニ非サレハ時々之ヲ布告スヘシ

○議事官集會ノ間ハ兩院相互ヒノ承諾アル  
非サレハ事ヲ議スルニ三日以上ヲ延引ス可  
ラス又定タル議事院ノ外他所ニ於テ商議ス



ルヲ許サス

類第六 兩院ノ議事官ハ合衆國ノ金庫ヨリ給料ヲ受

ケ在職ノ間ハ罪アリト雖比直ニ之ヲ捕フル

ヲ許サス第三類但シ謀反ヲ企ツル者死罪

ヲ犯ス者國乱ヲ起ス者ハ格外ナリ又議事官

ハ其院内ニ於テ何等ノ事ヲ商議シ爭論ス

トモ他所ニ於テ之ヲ答ム可ラズ

○兩院ノ議事官在職ノ間ハ仮令モ他ニ給料ノ

多キ官職アルトモ轉移スルヲ許サス又他ノ

官職ニ在ル者ヲ擢テ議事官ト為スヲモ禁

類第七 賦稅ヲ收ル法令ハ下院ニテ議定スヘシ然レ

モ上院ニテ之ヲ參議シテ或ハ改正スルヲ

得ヘシ

○都テ法令ノ案文ヲ作り兩院ノ同議ヲ經

必ス之ヲ大統領ニ呈シテ可否ヲ質スヘシ大

統領其案文ヲ見テ同意ナレハ之ニ調印ス

トナレモ若シ異存アルハ其異存ノ趣意ヲ述

ベテ之ヲ返スヘシ然ルモ初メ此案文ヲ作

タル局ニテ別ニ大統領ノ異旨ヲ書記シ案文



ニ副テ再議ヲ發ス若シ再議ノ上尙前説ヲ持  
 張スル者局内ノ總人數三分ノ二ニ至レハ此  
 局ノ評議ヲ一定シテ更ニ之ヲ彼局ニ送ルハ  
 シ彼局ニテ再議シテ同意ノ者總人數三分  
 ノ二ナルハ大統領ノ異存ニ關ハラズ定メ  
 テ國法トナスヘシ但シ斯ク再議スルハ局  
 内ノ總人數ヲシテ逐一其可否ヲ述ヘシノ其  
 姓名ヲ日記ニ誌シ置クハシ○又兩局ヨリ評  
 議ヲ建白スルハ大統領十日ノ内ニ其可否ヲ  
 決シテ之ヲ下ゲサレハ兩局ニテハ此建白ヲ

統領ノ調印ニタルト同様ノモノニ視做シ之  
 ヲ施行シテ國法ト為スヘシ但シ兩院ヨリ一  
 度建白スル上ニテ延引ヲ願フハ此例ニテ  
 ラス

第八類

議事院ノ權ハ左ノ件々ヲ取扱フヘシ  
 ○出入港税及ニ國內ノ諸賦税ヲ集メ國ノ通債  
 ○ヲ拂ヒ國內ノ防禦ヲ固クシ一般ノ平安ヲ謀  
 ○ル  
 ○合衆國ノ名ヲ以テ金ヲ借ル可キ事  
 ○外國ノ通商及ニ國內諸州并ニ亞米利加土人



- ト、貿易ヲ勉メ其法則ヲ立ル
- 外國人歸化ノ法ヲ平ニスル
- 商人分散ノ一付キ其法則ヲ正シクスル
- 貨幣ヲ造ラ其位ヲ調理シ外國ノ貨幣ト平均スル
- 并ニ一國ノ度量ヲ正シクスル
- 合衆國ノ貨幣證書ヲ偽作スル者ヲ罰スル法度ヲ立ル
- 飛脚場ヲ設テ驛路通報ヲ便利スル
- 書ヲ著シ事物ヲ發明スル者ニ官許ヲ以テ專賣ノ利ヲ與ヘ又學技藝ヲ進歩セシムル

- 洋中ニ於テ人ヲ殺シ人ノ物ヲ掠奪シ或ハ國內ニテ合衆國ノ法律ヲ犯スモノヲ審斷シテ刑ニ處スル
- 敵國ト戦争ヲ始メ強償ノ令ヲ出シ其他海陸奪掠ノ規則ヲ定ムル
- 師ヲ出シ軍費ヲ集ムル
- トモ二年ノ用意ヨリ多クス可ラサル
- 軍艦ヲ造リ海軍ヲ養フ
- 海陸軍ノ法則ヲ建ル
- 合衆國ノ法律ヲ施行シ叛賊ヲ壓伏シ敵國ノ



侵襲ヲ防クシテ郷兵ヲ募ル

○郷兵ヲ教ヘテ令衆國ノ軍役に供シ且議事院ニテ定メタル軍律ニ從テ諸州各其士官ヲ命シ郷兵ヲ訓練スル

○諸州城砦ヲ築キ武庫ヲ建テ、海軍ノ造船場ヲ設クル

○右ノ諸個條并ニ此度ノ律例ニ定メタル合衆國ノ政權ヲ施行スルモノ、法則ヲ設クル外國ヨリ歸化スル者ヲ諸州ニ容ル、ハハ議事院ヨリ之ヲ禁スヘカラス又初テ歸化シタ

第九類

ル者ハハトドルラ以上ノ賦稅ヲ取ルヘカラス

○大罪アルトモ罰子孫ニ及ハス貨財ヲ没入セス又既往ノ舊惡ヲ糾シテ之ヲ罰スルヲカ

ルヘシ  
○分頭稅ヲ收ルニハ必ス先ツ人口ヲ計ヘテ其數ニ準スヘシ

○國內各州ヨリ互ニ貨物ヲ出納スルハ稅ヲ取ル可ラス

○貿易并ニ收稅ノ法ニ於テ諸州ノ港ニ偏頗ノ



處置ヲ為スヘカラス又商船モ必ス某州ヨリ  
某州ニ通シ某州ニ於テ稅ヲ拂フニシト限ヲ  
立ヘカラス

○法律ノ許ス所ニ非レレハ金庫ヲ開クヘカ  
ス且錢穀ノ出納ハ時々之ヲ國中ニ布告ス  
シ

○合衆國ニ於テハ縉紳ノ爵位ヲ人ニ與ルヲ禁  
ス又合衆國ノ職祿ヲ受ル者ハ議事院ノ免許  
ヲ待タスニテ外國ノ王公ヨリ俸祿爵位并ニ  
贈物ヲ受ルヲ禁ス

第類

○國內一州ノ權ヲ以テハ外國ト條約ヲ結フヘ  
カラス強償ノ令ヲ出スヘカラス貨幣ヲ造ル  
ヘカラス金銀ノ手形證書ヲ出タスヘカラス  
通債ヲ拂フニ金銀貨幣ヲ除クノ外他物ヲ用  
ユヘカラス縉紳ノ爵位ヲ人ニ與フヘカラス  
○一州ノ權ヲ以テハ輸出輸入品ノ稅ヲ收納ス  
ルニ唯收納ノ雜費ヲ取ルノミニテ税金ハ精  
密ニ會計シテ合衆國ノ金庫ニ納ムヘシ是等  
ノ法則ハ議事院ニテ再校改正スヘシ  
○一州ノ權ヲ以テハ頓稅大ハ津小スハトキ英



鉄ヲ取ル可ラス又太平ノ片兵卒ヲ養ヒ軍艦ヲ備フ可ラス此州彼州ト徒黨シ或ハ外國ト約束ヲ結フ可ラス兵ヲ起ス可ラス但シ現在敵ノ罷攻ヲ蒙リ或ハ危急ノ事變有テ猶豫ヲ可ラサル時ハ此例ニ非ス

第二條

第一類 定法ヲ施行スルノ權ハ亞米利加合衆國大統領ノ手ニ在リ大統領及ヒ副統領ハ在職四年ヲ限トス之ヲ撰擧スルノ法左ノ如シ  
○大統領及ヒ副統領ヲ人撰スルヲ諸州ニ法

ヲ立ノ之ヲ撰擧スル人ヲ命ス其人員ハ上下院ノ議事官ノ數ニ同シ但シ議事官及ヒ其他合衆國ノ職祿ヲ受ル者ハ此員ニ入ルヲ得ス  
○此撰擧人ヲ命スルノ時節并ニ統領ヲ撰擧スル日ハ議事院ニテ之ヲ定ム但シ其日限ハ合衆國中同日タルヘシ  
○合衆國ニ生タル人ニ非サレハ大統領ト為ルヲ得ス又合衆國ノ産ニテモ年三十五歳ニ滿タズ生來十四年ノ間合衆國ニ住居シタル者



ニ非リレハ此撰擧ニ當ル可ラス

○大統領不時ニ退職シ或ハ死シ或ハ其職掌ヲ  
盡ス才徳ナケレハ副統領之ニ代ルヘシ副統  
領代任シテ亦不時ニ退職シ或ハ死シ或ハ其  
職掌ノ盡ス才徳ナケレハ議事院ニテ一人物  
ヲ撰ヒ仮ニ大統領ト為シテ次ノ大統領ヲ撰  
舉スルハ待ツヘシ

○大統領ハ例年定式ノ給料ヲ受ケ在職ノ間決  
シテ其高之増減スヘカラス又在職ノ間ハ給  
料ノ外ニ諸州ヨリ利潤ヲ受ケヘカラス

○大統領職ニ即タテハ誓ヲ發ス可シ其詞ニ云  
ク

余謹テ誓ヲ發シ余誠實ノ意ヲ以テ合衆國  
大統領ノ職掌ヲ遂ケ余カオカヲ盡シテ合  
衆政治ヲ保護スヘシ

第二類

大統領ハ合衆國海陸軍ノ總都督ニシテ諸州  
ノ御兵ノヒ合衆國ノ軍役ニ用ルルハ之ヲ指  
揮スヘシ又諸局ノ職掌ニ付キ其長官ノ意見  
ヲ試ルタノ書札ヲ出サシムヘシ又罪人ヲ刑  
罰ニ處スルハ其期限ヲ延ハシ或ハ罪ヲ謝ス



ル者ヲ救ムノ權アリ但シ諸有司其職掌ヲ謬  
ルノ罪ハ此例ニ非ラス

○大統領ハ上院ノ議事官ト商議シテ議事官ノ  
全員三分ノ二同意スレハ外國ト條約ヲ結  
ハシ又上院ノ議事官ト商議シテ外國へ遣差  
スル使節ニストムコンシム及ヒ上局ノ裁  
判司其外合衆國ノ諸有司ヲ命スルノ權  
但シ昇賤ノ吏人ヲ命スルハ議事院ニ謀  
スシテ大統領ノ獨斷ヲ以テ之ヲ處置シ或ハ  
各局ノ長官ヨリ之ヲ命スルトモ法ニ度ルト

第三類

ヒス

大統領ハ合衆國內ノ形勢ヲ察シ之ニ應シテ  
施サント欲ル策略ヲ設ケ時々之ヲ議事院ニ  
下クシテ議論セシムヘシ又不時ニ上下兩院  
或ハ一院ノ官員ヲ集メテ事ヲ議スルヲ得  
シ若シ其時ノ衆議一時ニ決シ難ハハ獨  
ラ以テ期日ヲ延ハシ再ヒ集會セシムルヲ得  
ヘシ○大統領ハ外國ノ使節ニストムヲ待  
遇スヘシ又法令ヲ施スニ必ス信實アラン  
ヲ注意シ合衆國ノ諸有司ニ委任狀ヲ附與ス



ル、権アリ

類第 四 大統領副統領及ニ其他合衆國ノ諸政官謀反

ヲ企テ或ハ賄賂ヲ貪ル等ノ大罪ヲ犯ストシ

ハ上下兩院ノ商議ヲ以テ先ツ其職祿ヲ奪フ

ハシ

第三條

類第 一 合衆國裁判ノ權ハ上下兩局ニ分與シ下局ノ

裁判司ハ議事院ヨリ之ヲ命ス

ハ上局ノ裁判司

ハ大統領ト上

院ノ同職ニ命ス

ハ兩局ノ裁判司ハ職ニ在

ル一年限ナシ例年定式ノ給料ヲ受ル此給料

ハ在職ノ間決シテ減スルコトナカルヘシ

類第 二 裁判局ノ權ノ達スル所ハ左ノ件々ナリ

○此律令ニ定タル規則其他合衆國ノ諸法ヲ論

駁シ又外國ノ條約ニ關ハルコトヲ審判ス

○外國へ遣差スル使節ニストルコトヲ審判ス

關ハルコトヲ審判ス

○海軍ノ法則ニ關ハルコトヲ審判ス

○各州ノ間ニ起ル爭論一州中ノ人々ノ間ニ起

ル爭論及ヒ州人ト外國人トノ間ニ起ル爭論

ヲ審判ス



新條

○外國、遣差ナル使節ニストルモノシユルニ  
 關係セル事并ニ一州黨ヲ結テ起タル争ハ上  
 局ニテ其裁判ノ主役ヲ司ルヘシ其他ノ裁判  
 ハ議事院ノ規則ニ從ヒ上局ハ立合ト為テ越  
 訴ヲ聽クヘシ新訟スル者先ツ下局ノ裁判ヲ  
越テ上局ニ訴フヘシ  
之ノ越訴トスフ  
 ○罪人ヲ裁判スルハ其罪ヲ犯サル土地ニ於テ  
 ハヘシ外國ニテ罪ヲ犯シタル者ハ議事院  
 テ法ニ從ヒ其裁判ノ場處ヲ定ムヘシ  
 三 謀反ノ名ヲ下ラス者ハ合衆國ニ敵對シテ兵

第一類

○謀反ノ罪ヲ犯スニハ確證ヲ以テ證人ト為ル  
 モノ二人アル歟或ハ裁判局ニ於テ躬カク白  
 状スルニ非サレハ謀反ノ名ヲ下クモ可ノス  
 ○謀反者ヲ刑スルノ權ハ議事院ニ在リ然レド  
 既ニ之ヲ刑スレハ其罪親屬ニ及ハス又貨財  
 ヲ没入スルヲモナカルヘシ  
 第四條  
 一 各州ノ法律及ヒ裁判ハ互ニ相信用スヘシ



類第二

一州ノ人民ニ附與スル特恩ハ各州ノ人民ヘ  
モ許シテ此彼偏頗スルヲナカルヘシ

○

此州ニテ罪ヲ犯シタル者裁判ヲ適レ他州  
出奔シテ其住處發露スルハ本州ヨリ之ヲ返  
サントヲ求レハ直ニ之ニ引渡ス可シ

○

此州ニテ法律ニ從ヒ人ニ任役サル者其任  
役ヲ適レテ他州ニ出奔スルハモ前ノ例ニ從  
フヘシ

類第三

議事院ノ協議ニ由テハ新ニ州ヲ立テ合衆國  
ノ版圖ニ入ルヘシト雖モ從來諸州ノ界内ニ

州ヲ立テ或ハ二州ヲ合シテ一州ト為ス可ラ  
ス

第五條

○爾後議事院ノ全員三分ノ二ニテ説ヲ發シ或  
ハ諸州評議局ノ内三分ノ二ヨリ建白シテ此  
度ノ律例ヲ改革セント欲スルハ之カクノ  
集會ヲ催ノス可シ集會ノ内全員四分ノ三  
説ニ同意シテ調印スルハ定メテ國律ト  
シ此律例ト並ニ行フヘシ

第六條



○此度ノ律例ヲ施行スル前ニ借用シタル國ノ  
逋債及ニ約束ハ此律例ニ從テ同盟シタル合  
衆諸州ノ責トナルハシ

○此律例並ニ合衆國ノ權ヲ以テ外國ト結ノ條  
約ハ一國內無上ノ定律トシテ之ヲ守リ此定  
律ヲ守ルト否トニ由テ各州ノ正非ヲ斷ス  
シ或ハ此定律各州一個ノ法則ト齟齬スル  
アル比之ヲ顧ルコトノカルハシ

○上下兩院ノ議事官各州ノ評議官其他合衆國  
並ニ各州ノ裁判司諸有司、擔ヲ發シテ此律

例ヲ守ルヘシト雖凡人ヲ點步スルニ其宗旨  
ヲ論スルトノカルヘシ

第七條

○諸州ノ内九州同議シテ此律例ニ調印スレハ  
乃チ之ヲ施行スヘシ  
紀元千七百八十七年即合衆國  
ノ建國第十二年第九月十七日  
諸州ノ同議ヲ以テ之ヲ定ム

大統領沙タ、華盛頓誌

爾後千七百八十九年ヨリ千八百四年マテノ間



此律例ノ増補改正シタル條々左ノ如シ

○宗旨ヲ関クニ付キ議事院ヨリ其法則ヲ立ツル一ナク自由ニ之ヲ許スヘシ又事ヲ議論シ或ハ書ヲ著ス一ヲ禁スヘカラス又人民平穩ニ集會シテ政府ニ愁訴スルヲ勝手タルヘシ

○法律ノ寛ノ一國ニ於テハ郷兵ヲ養フヲ緊要ナルカ故ニ國民皆武器ヲ貯ヘ武器ヲ携ルヲ許ス  
太平ノ時ハ兵卒ノ家ニ行キ其主人ノ許ヲ待タスシテ之ニ宿ス可ラス但シ戰爭ノ間ハ此例

ニ非ラスト雖モ亦法ヲ越ス可ラス

○安一人ヲ捕ハ或ハ家内ヲ搜索シ或ハ書類ヲ奪ントスル者アルハ人民躬カラ之ヲ防クノ權アルヘシ但シ其搜索スヘキ場處人物及ヒ品物等ニ付キ疑慮スル所ヲ述ヘ摺ヲ發シテ其實情ヲ告ルハ其搜索ヲ許スヘシ  
○罪人ノ吟味ハ其罪ヲ犯シタル土地ニ於テ先ツ罪人ハ其罪ノ次第ヲ告ケ其證人ト對決セシメ又本人ノシメニ其無罪ヲ證スル者ヲモ出シテ其説ヲ述ヘシテ速ニ裁判スヘシ



○非常ノ例ヲ以テ罪ヲ赦ス可ラス非常ノ罰金ヲ  
 取ル可ラス又慘酷非常ノ刑ヲ行フヘカラス  
 ○律例中ニ其ノ其ノ權ヲ墜制スヘシトノ趣旨ニ非  
 權ヲ以テ人民ノ權ヲ墜制スヘシトノ趣旨ニ非  
 ラス決シテ之ヲ誤解スルコト勿レ  
 ○大統領及ヒ副統領ヲ撰擧スルノ任ヲ蒙リタル  
 人ハ各一州ノ内ニ會合シテ入札ヲ為スヘシ但  
 シ同州ノ人ヲ撰擧シテ大統領トナシ或ハ副統  
 領トナスルニ禁制ニ非ラスト雖モ大副二人ノ  
 内一人ハ必ズ他州ノ人ヲ撰擧ヘシ入札ノ法撰

擧人各其意ニ從テ大統領トシ或ハ副統領トセ  
 ント欲スル者ノ姓名ヲ札子ニ記ルシテ箱ニ投  
 シ終テ之ヲ開キ其撰擧ニ當ル人ノ姓名並ニ員  
 數ヲ紙ニ書記シ又其一人毎ニ撰擧ノ受ケタル  
 數ノ多寡ヲ各姓名ノ下ニ記シテ之ニ調印シ密  
 封シテ合衆國ノ政府ニ呈ス政府ニ於テハ上院  
 ノ上席各州ヨリノ呈書ヲ受テ上下兩院ノ議事  
 官ヲ會シテ之ヲ開封シ逐一點見シテ撰擧ヲ受  
 タル數ノ最多キ者ヲ大統領ト為シ或ハ副統領  
 トナス若シ數人ノ内撰擧ヲ受ルノ數此彼同等

西洋事情

三



ノルバハ上等ヨリ以下三人ヲ擧ク下院ノ入札  
ヲ以テ三人ノ内ヨリ一人ヲ撰テ大統領トテス  
ヘシ副統領ノ方ハ上等ヨリ以下二人ヲ擧ク上  
院ノ入札ヲ以テ一人ヲ撰定スヘシ○又律例  
從テ大統領ト為ス可カラサルモノ、亦副統領  
ノ撰擧ニモ當ル可ラス  
年三十五歳ニ滿ク

○合衆國ノ北部ニ於テハ兒童ヲ教育スル小學校  
最多ク其法甚善シ亞米利加政治ノ一美事ト云ヘ  
シ學校ノ費用ハ賦稅ヨリ出シ或ハ又別ニ學校ニ  
附屬セル元金ナルモノ有テ年々其金ノ利息ヲ集  
メ州内ノ諸府ニ學童ヲ教育スル員數ニ準シテ之  
ノ分配ス一都府ノ内ニ必ス小學校一所ヲ設ケ府  
外ニテモ人家アルノ地ハ凡ニ里四方ノ内ニ一所  
ヲ設ケテ往來ノ便利ヲ為ス又一郡毎ニ人物十二  
名ヲ撰擧シ學校ノ知事ト為シテ郡内諸學校ノ事  
務ヲ司ラシム學校ニ入ラントスルモノハ何人ノ







備兵ハ歩兵八隊大砲四隊騎兵二隊ニテ惣人數一  
 萬零三百二十人ナリシカ翌年又其數ヲ増シタリ  
 ○陸軍將七一ノ給料左ノ如シ「イ」ジョール、ゼチ  
 「ル」二百「ド」ル、ル「コ」ロチ「シ」七十五「ド」ル「カ」ド  
 「テ」シ四十「ド」ル「リ」テ「ン」シ二十五乃至三十  
 「ド」ル「シ」ル「ジ」ン「ト」、シ「ジョ」シ十七「ド」ル「ラ」ル「コ」  
 「ボ」ラ「ル」シ九「ド」ル「ラ」ル「シ」卒「セ」ド「ル」ラ「ル」都テ陸軍  
 ノ將士ハハ致仕ノ後扶助ノ給料ヲ與ル「コ」ナシ右  
 ノ如ク陸軍ノ仕役ニハ恩典薄シト雖此周「リ」怪  
 ムニ是「リ」ス其故ハ合衆國ニ於テハ一旦軍務ヲ辭

ス「ト」セ他ニ仕役ノ路「ナ」キカ故ニ更ニ尋常ノ職  
 業ヲ得ル「ル」容易ナレハナリ○常備兵ノ外郷兵ノ  
 軍籍ニ入ルモノ甚多シ千八百四十九年ニ至テハ  
 其數百九十一万四千一百人アリ  
 ○千八百五十年ノ記載ニ據ルニ大小軍艦七十七  
 隻アリ○海軍ノ仕役ニハ恩典厚クシテ其給料モ  
 陸軍ニ比スレハ甚多シ即一歳ノ給料次ノ如シカ  
 「ビ」チ「ン」二千五百乃至四千五百「ド」ル「ラ」ル「リ」テ「ナ」  
 「ン」ト二千二百乃至千八百「ド」ル「ラ」ル「シ」上等醫師一千乃  
 至二千七百「ド」ル「ラ」ル「シ」下等醫師六百五十乃至千百



五トドルハ昔古七官四百五十乃至七百五十ド  
 レラハ測量方七百五十乃至一千百ドルハ水夫  
 頭、帆前司等三百六十乃至七百五十ドルハ右ノ  
 割合ハ英國海軍ノ給料ヨリモ遙ニ多シ然ルニ亞  
 米利加、海軍士官等盡ク此給金ヲ費シテ一錢ニ  
 餘マレモ、ナキハ蓋シ亞米利加ニ於テハ英國ニ  
 リモ物價貴ク且其士官他ノ活計ヲ營マスニテ唯  
 給料ノミヲ以テ衣食ノ用ニ供スルカ故ナリ又合  
 衆國ニ於テハ何人ノテモ數年ノ間産業ヲ勉メハ  
 ヲク獨立シテ他ノ恩澤ヲ蒙ラザ要ヒサルニ至ル

ヘキカ故ニ政府ノテモ海軍士官等ヘハ其給料ヲ  
 厚クスルニ非サレ、之ノ仕役スヘカラサルナリ  
 合衆國ニ海軍ノ造船局七所アリワシントンノ造  
 船局ニテハ專ラ鋸、鎖、綱具等ヲ製ス

錢貨出納

合衆國歳入ノ主タルモノハ出入港税、土地ヲ賣却  
 スル代金及ク飛脚場ノ税ナリ千八百三十四年ヨ  
 リ千八百四十九年ニ至ルマテ十六年ノ間土地ヲ  
 賣ルル共計七千二百四十四萬アリ本邦ハ千  
 百十坪余ニシテ代金九千二百三十八萬二千ド



ルラニ余ヲ得シリ飛脚場ノ税ハ屢カニ其雜費ヲ  
 償フニ足ルノニ其他ノ諸賦税ト記スヘキモノナ  
 シ千八百五十年錢貨ノ出納左ノ如シ  
 歲入  
 三千五百九十五萬二千四百五十六ドルラビ  
 港運上  
 百七十四萬八千七百十五ドルラビ  
 土地ノ代金  
 百十五萬六千三百八十二ドルラビ  
 諸運上

總計三千八百八十五萬七千五百六十八ドルラビ  
 歲出  
 千四百三十七萬四千六百二十九ドルラビ  
 國內定式ノ入用  
 千九百九十七萬三千百十二ドルラビ  
 陸軍ノ入用  
 七百七十七萬五千四百十ドルラビ  
 海軍ノ入用  
 三百七十七萬零八百四十五ドルラビ  
 國債ノ利息



總計三千七百八十九萬三千七百五十九「ドル」ラ  
 ○千八百十二年ヨリ英國ト戰爭シ千八百十五年  
 和睦ノキニ至テハ國債漸ク増シテ一億五千八百  
 七十一萬三千零四十九「ドル」ラト為リタレトキ  
 八百三十五年盡ク之ヲ拂ヒ尚其後數年ノ間、歳入  
 ノ余金ヲ積ミ政府ヨリ諸州へ貸スニ至レリ「メキ  
 シ」トノ戰爭ニ軍用ヲ費シ且和議ノ後「ソ」キ「シ」コ  
 政府ハ二億一千七百萬「ドル」ラ「ル」ヲ與ヘテ「カ」ク「ホ  
 ル」ニヤ、地方ヲ買ヒ之ニ由テ又國中ニ金ヲ借リ  
 千八百四十九年ニ至テ國債ノ總計六千四百七十

萬零六百九十三「ドル」ラト為レリ然レトモ此高ハ  
 合衆國ノ歳入ニ比スレハ屢々ノミ  
 ○合衆國ノ諸州ハ固ヨリ華盛頓府ノ政治ニ從  
 ト雖レ一州内ノ事ヲ治ムルニ於テハ各別ニ評議  
 司ヲ命シ法則ヲ建テ裁判所ヲ設ケ賦稅ヲ收ル等  
 全ク獨立ノ體裁ヲ為セリ又水道ヲ堀リ鐵道ヲ造  
 クル等、其土地ノ工業ヲ起スルハ世間一般ヨリ金  
 ヲ借ル「ト」華盛頓ノ政府ニ異ナル「ト」ナシ千八百五  
 十年「ニ」ユ「ロ」ク一州ノ逋債二千四百萬「ドル」ラ  
 余、一歳ノ賦稅ヲ收ル「ト」五百五十四萬「ドル」ラ余

西洋事情

卷之二



ナリト云フ故ニ合衆國ノ經濟ヲ計ルニハ華盛頓  
府ノ出納ニ各州自己ノ出納ヲ合セテ算定セラル  
可ラス  
全一國五ノ數總ニ其ノ中ノ一ノ數ニ等シキ  
ト云フ  
○昔年國ノ經濟ノ盛衰ハ其ノ中ノ一ノ數ニ等シキ  
ト云フ  
○昔年國ノ經濟ノ盛衰ハ其ノ中ノ一ノ數ニ等シキ  
ト云フ

荷蘭國

史記

羅馬ノ世ニ當テ「バタフマ」ト唱ル人種荷蘭ノ地  
ニ住居シ好テ戰爭シタルハ紀元前百年ノ「ナリ  
其頃近傍ノ地ニ在ル「メルジ」人ハ草昧ノ世ニ於  
テ既ニ貿易ヲ勉メ此風習後世ニ傳テ荷蘭國貿易  
ノ基礎ヲナセリ紀元前九年「レイン」河ト「アイヌ」  
湖トノ間ヲ堀テ水道ヲ通シ全國ノ地理ヲ一變シ  
ルハ大土エト云フヘシ其後「バタフマ」人ハ羅  
馬帝國ノ保護ヲ蒙リ羅馬人ニ接シテ國內漸ク開



化一進ミ又紀元五百年ノ間ハフランクス佛蘭  
 二屬シ八百年代ノ央ニ至テ佛蘭チャルレマン帝佛蘭  
 日耳曼ノ為ニ押領サレタリシカ此時代ハ封建  
 統ノ國帝ノ為ニ行ハレテ佛蘭バタフニヤン人モ再ニ獨立シ分  
 々テ數小國ト為レリ即佛蘭ゴルドレス佛蘭グラバン佛蘭トリ  
 ン佛蘭クセン佛蘭ボユルグ佛蘭リム佛蘭ビユルグ佛蘭アント佛蘭エルブ佛蘭ホル佛蘭ラ  
 ド佛蘭ヤ佛蘭ラ佛蘭ランド佛蘭ソット佛蘭フエン佛蘭フラン佛蘭ヂル佛蘭アム佛蘭ト佛蘭イス佛蘭ハ  
 イ佛蘭ノ佛蘭ト佛蘭ナ佛蘭ル佛蘭ム佛蘭エ佛蘭ト佛蘭レ佛蘭フ佛蘭ト佛蘭オ佛蘭イ佛蘭フル佛蘭アイ佛蘭ス佛蘭ル  
 ン佛蘭ゴ佛蘭ロ佛蘭ン佛蘭ゲン佛蘭フリ佛蘭リス佛蘭ラ佛蘭レ佛蘭ド佛蘭ノ佛蘭クリ佛蘭ン佛蘭是佛蘭ナ佛蘭リ佛蘭之  
 フ荷蘭ト七州ノ舊地トス右十七小國ノ内ヲラン

テル國ヲ上位ニ定メテ他諸國ノ總督ヲナセシカ  
 千三百年代ニ至リ其君婚姻ノ縁ヲ以テ位ヲビユル  
 ゴンダ家ニ譲リタリ爾後ビユルゴンダ家ノ君モ其  
 例ニ效テ位ヲオーストリヤ家ニ譲リ第五世チャ  
 レスニ至テ十七國ノ一統シ其太子第二世スリ  
 ニ國位ヲ傳ヘタリフリップ位ニ即テヨリ苛刻ノ令  
 ヲ下シテ異端ノ宗門ヲ攻メントニ其他種々慘酷  
 ノ政ヲ行ヒタルニ由テ遂ニ人心ヲ失ヒ國內ノ七  
 州謀反シテ別ニ合衆政治ヲ建テオ井ルレムハ現今ノ佛  
 蘭王ノ姓ナリ千五百



年代、ラック諸島ヲ取テ海外ノ所領ト為シ其地ニ  
 産スル胡椒ノ類ヲ諸方ニ貿易シテ獨リ利ヲ專ラ  
 ニセリ十六百年代ノ末ニ至テハ荷蘭人ノ貿易盛  
 大ヲ極メ九ノ歐羅巴ノ商船半ハ荷蘭ヨリ出ラタ  
 リシカ其後屢戦争ヲ起シ且諸國ノ商船漸ク增加  
 シテ貿易ヲ勉ムニ及テ荷蘭ノ貿易ニ遂ニ其名譽  
 脱落セリ佛蘭西王第十四世ロイス兵ヲ擧テ荷蘭  
 ヲ攻タムバハ荷蘭人皆船ニ集テ遁逃シ返テ其海  
 岸ヲ襲ヒ遂ニ佛蘭西兵ヲ逐テ國ヲ全フヌルヲ  
 得タリ其後大乱ノ始ヲナシ佛蘭西ニ併セ

レ十七百九十五年ヨリ合衆政治ヲ立テ千八百  
 六年ニ至テ佛蘭西ヨリ第一世ナポレオンノ弟ロ  
 イス、ナポレオンヲ以テ荷蘭王ト為シ四年ヲ經テ  
 千八百十年又佛蘭西ヨリ之ヲ廢シテ荷蘭ノ土地  
 ヲ全ク佛蘭西帝國ノ版圖ニ入レタリ以時ニ當テ  
 荷蘭ノ貿易ハ全ク地ニ落テ海外所領ノ地ニ盡  
 英國ニ奪却サレタリ 此時荷蘭ノ國旗ヲ獻ヘ  
ト云フ今ニ至テ荷蘭ハ世界中唯長壽ノ出島  
ク、忘レハ所ノリ 千八百十四年ナポレオン  
 軍政績ニテ歐羅巴各國和議ヲ結フニ至テオラニ  
 侯第一世ハルム再ヒ本國ヲ領シ海外所領



地モ二三所ハ舊ニ復スルヲ得タリ千八百十六年  
各國ノ協議ニ由テオラニ侯ノ位ヲ進テ荷蘭  
王ト為シ荷蘭本國並ニ白爾義ヲ一統セリ千八百  
三十年白爾義ノ人、荷蘭ノ政治宗門ニ從フヲ欲  
シテ亂ヲ起シ別ニ一國ヲ建テリ即今ノ王國白  
爾義ナリ千八百四十年第一世オラニ國位ヲ其  
太子第二世オラニ讓リ千八百四十九年第二  
世オラニ死シ太子第三世オラニ立ツ今ノ荷  
蘭王ナリ

政治

千七百九十五年荷蘭國佛蘭西ニ併セララル、前  
ハ合衆政治ニテ政ヲ議スルモノヲ「スターテン」セ  
テ「リヒト」稱シ其上席ニ立テ國政ヲ施行スルモ  
「フ」ス「ット」ホ「ウド」ルト稱セリ千五百年代ヨリ千  
七百年代ニ至ルマテ荷蘭ノ貿易盛大ヲ極ニ富饒  
ヲ致シタル所以ハ全ク政府ノ趣旨ニテ法律ノ實  
トルニ由テナリ此時ニ當テ英佛其他歐羅巴諸國  
ニ於テ宗門ノ國法ノ議論ニテ内亂ヲ生シ互  
相侵伐シテ國民皆其慘毒ヲ蒙リタルニ荷蘭ニ獨  
リ此機會ニ乘シテ巧ニ法ヲ設ケ各國ヨリ放逐サ



レ或ハ亂ヲ避テ出奔スルモノヲ盡ク國內ニ納  
 法律ヲ寬シテ之ヲ待遇シ才力アルモノハ厚ク  
 之ヲ用ヒ或ハ又海外所領ノ地ニ人ヲ移シ南北僻  
 遠ノ地ニ其他ニ移住スルモノ意ニ從テ自由ニ  
 之ヲ開拓セシメ絶テ政府ノ規律ヲ立テス都テ訴  
 訟ニテハ偏頗ナク速ニ裁斷シ賦稅ハ輕ク  
 スト雖ヒ錢穀ノ出納ヲ正シクシテ偽詐ヲ交スル  
 事ヲ為シ石ノ如ク荷蘭ノ政治、都テ實際ニ近  
 テ事ヲ為シ國律ヲ寬シテ宗門ノ議論ヲ為サス  
 工業ヲ勸メ國用ヲ節シ數百年ノ繁盛ニ為シ

方今荷蘭國ハ立君定律ノ政治一為ラ國位ノ血統  
 子孫ニ傳ヘリ王家ハ即チオラニ一姓ニテ荷蘭  
 獨立ノ始祖ナリ日耳曼ニシテ荷蘭ノ所領  
 日耳曼ノ中ニ大小  
 獨立ノ日耳曼列國、盟約ニ結ビ日耳曼全國ニ加ハ  
 保護スルニ日耳曼列國、盟約ニ結ビ日耳曼全國ニ加ハ  
 ルカ故ニ荷蘭王此盟約ニ關係スルハハリクメン  
 ビニルグノ上公ト稱スリ、同ナルヲ荷蘭國ニテ支配  
 スルカ故ニ荷蘭國王  
 ○國王ハ罪アリト雖モ其身  
 刑罰ヲ加ヘ可ラズ國內治乱ノ責ニ任スルモノ  
 ハ事務執政ノリ文武士官ヲ命シ法ヲ施行シ師ヲ

西洋事情 卷之二

三



起シ和ノ議シ海外所領ノ地ヲ支配スルノ権柄ハ  
 國王ノ手ニ在リ議事官ハ上下二局ニ分レ毎年會  
 同シテ國事ヲ議ス上局ノ官員四十乃至六十人國  
 王ヨリ命スルモノニテ終身職ニ在リ在職ノ間ハ  
 旅行ノ雜費トシテ政府ヨリ毎年八百ポンドヲ  
 受ク但シ年四十歳ニ滿タサルモノハ用ニ可ラス  
 下局ノ官員五十五人諸州ノ人民ヨリ撰擧スル  
 一ナリ即チホルラントヨリ二十二人 デラバント  
 ヲリヒ人 ゴルドムラントヨリ六人 ラリムラント  
 ドヨリ五人 オルフム、アイム及ヒ ゴロニンゲン

ヨリ各四人 ゼーランド及ヒ ユトレフトヨリ各三  
 人 ブレントヨリ一人ヲ出ス但シ リユクセン ミユルグ  
 ニハ別ニ議事集會アリ○下局ノ議事官ハ年々其  
 全員ノ内三分一ヲ交代セシメ三年ニシテ一新  
 之ヲ撰擧スルニ人民ノ望ヲ屬スルモノヲ擧グテ  
 直ニ用ユルニ非ラスシテ種々次第ヲ重スルカ故  
 其法或ハ公平ナラザルヲアリ先ツ一邑ニ於  
 賦稅ヲ納ルル多キ者相集テ若干ノ人員ヲ撰擧  
 之ヲ ギースル 撰擧ト名ツケ此 ギースルヲシテ  
 其邑ノ評議司ヲ撰擧セシム評議司ハ終身職ニ在



ルモノニテ其意ニ從テ邑人ヲ撰擧シ之ヲ名代人ト稱シ一州ノ都府ニ遣ラ州内ノ事ヲ議セシム即チ毎年下局ノ議事官ヲ撰擧スルモノハ此名代人ナリ○上下兩局ノ議事官ハ國內ノ賦稅ヲ收ルノ權アリ但シ英國ノ如ク毎年錢穀ノ出納ヲ尚議單定セスシテ十年毎ニ一度會計ヲ為シ蓋シ煩勞ノ省クノ為ナリ然レト此事ニ付テ種々不平ノ議論ヲ生スルカ故ニ遂ニハ法ヲ改革スルヲアルヘシ

○荷蘭ニ於テハ人ヲ用ルニ其宗門ヲ問フヲナシ英國ニ於テハ然ラズ國事ヲ議スルニ宗門ノ限ル

○荷蘭國ノ元ノ歐羅巴文明ノ中心ト云フハ舊地ナルニ其名譽世上ニ轟カラル所以ハ文學ノ教周ク國中ニ達シテ貴賤ノ別ヲク皆之ヲ研究ニ却テ拔群ノ名ヲ得ルモノナリトシテ其實ハ博識實學ノ人物甚多シ千八百五十二年國中一學校ノ數三十一百九十五所之ヲ出入スル學童三十六萬一千零十五人ナリ荷蘭全國ノ人口ヲ二百七十六萬七千六百七十一人トシ其内年五歳ヨリ十五歳ノ兒童ハ凡七十萬ナレハ全國ノ兒童過半ハ小學校ニ入ルハ割合ナリ此外大學校ニ甚多ク殊ニ



校ハ最ニ盛ナルモ、一ノ學生一千百十九人、  
海陸軍

千八百五十四年陸軍ノ全員五萬七千九百五十九  
人此内士官千六百六十九名大砲隊ノ人数一萬零  
九百九十四人、  
軍艦ハ大小百四十艘之、備ハ大砲一、六百七十四  
門、士官水夫ノ全員六千七百六十八人、外ニ海軍士卒  
千五百八十八人、リ分テ二隊ト為セリ、  
錢貨出納

千八百五十四年荷蘭ノ歳入一千七百九十五萬八  
千四百三十八、  
四百七十一萬五千二百十九、  
分頭稅

分頭稅ノ方明稅ノ地稅家稅等ノ定リ、  
製上ノ物ヲ運送シ、國中ノ賣買、  
運上ノ物ヲ運送シ、國中ノ賣買、  
列國ノ物品運上ノ故、  
兩探ノ品物運上ノ故、  
西探ノ品物運上ノ故、  
四百九十萬零四千八百二十四、  
格運上





一百十八萬千九百七十五  
 船ノ運上  
 三十三萬七千五百  
 飛脚印  
 二百四十五萬  
 海外所領ノ地ヨリ別段ノ運上  
 百十七萬五千  
 海外所領支那ノ元金  
 石ノ外略  
 同年ノ歲出

二百六十萬  
 陸軍ノ入用  
 百四十一萬三千七百五十  
 海軍ノ入用  
 九百零五萬二千三百七十一  
 國債ノ利息  
 石ノ外略  
 同年荷蘭ノ國債三億零零二十四萬七千零七十五



西洋事情卷之二終

Faint vertical text columns within a rectangular border, likely bleed-through from the reverse side of the page.



